

伊丹市議会議員 おおつる 求の議会報告

みんなちがって、 みんないい



新人議員として、懸命に走り続ける日々です。

『みんなちがって、みんないい』を前面に打ち出し挑戦した初めての選挙戦。予想通り大変厳しいものでしたが、皆さんの温かいご支援のおかげで、当選することが出来ました。

5月1日から伊丹市議会議員として活動しております。先輩議員に助言をいただき、失敗を繰り返しながら、懸命に走り続ける日々です。

6月議会では、初の一般質問も経験しました。

『小さな声に光』をあて、『自分らしく暮らせる伊丹』を目指し、初心を忘れず精一杯頑張ります。今後よろしくお願いいたします。

暑い日が続きます。くれぐれもご自愛ください。

おおつる 求

2015年4月26日投開票
伊丹市議会議員選挙結果

- ・投票率 42.83%
- ・定数 28名
- ・立候補者数 37名
(現 24、元 2、新 11)
- ・おおつる得票数
1,178票(27位)
- ・当選者内訳
(現 22、元 1、新 5)

会派は「フォーラム伊丹」に所属

フォーラム伊丹(8名)、公明党(6名)、共産党(4名)、創政会(4名)、新政会(3名)、いたみ未来ネット(2名)、会派に属さない議員(1名)という会派構成になりました。



◆会派とは

政策など同一理念を共有するグループ。議会運営は会派を中心に行われる。

◆特別委員会とは

議会が特に必要と認めるときに設置。「議会改革」の他に、「飛行場問題対策」、「総合戦略及び総合計画検討」がある。

文教福祉常任委員会と議会改革特別委員会

私は「文教福祉常任委員会」に所属。議論する分野は、健康福祉部・こども未来部・就学前児童施策推進班・教育委員会等です。

また市民に開かれた議会構築並び充実・活性化を図るため、議会改革を検討・推進する「議会改革特別委員会」に所属しています。

本会議傍聴席は 82 席 (車いす用 5 席含)、委員会傍聴席は 10 席あり、誰でも傍聴できます。また、本会議はライブ中継、及び録画映像を伊丹市議会のホームページでご覧になれます。

議会報告

6月3日から6月議会が開かれ、本会議4日目の6月15日(月)午後、初めての一般質問をしました。伊丹の場合、質問・答弁あわせて時間は50分。その要旨をご報告します。

『病児保育』広報・周知と、定員枠拡大を強く要望。

子どもが病気のため保育所等に通園できないが、保護者が仕事等の都合で見られない場合、子どもを一時的に預かる保育施設『病児保育』。6月から、みどり保育園にて定員2名で始まった。伊丹病院職員寮「昆陽池ハイツ」1階の3室を改修し、専任の保育士と看護師を配置している。

保護者の要望に応えた市の姿勢を評価する一方で、新しい施策の周知不足、及び定員枠が足りないことを指摘。保育所や幼稚園等に通園している全世帯へ案内チラシの配布と、一日でも早く定員枠の拡充、又は施設を増やして欲しい、と強く要望した。



床工事やり直すと、真の当事者参加を求めたが・・・



ミミズ腫れのように波打つ。
「下地に多数あったクラックを養生せず、床材を貼った」と、担当課は報告を受けた。

大規模耐震工事と共に、改修工事をおこない、4月にリニューアルオープンした伊丹市立障害者福祉センター(通称:アイ愛センター)。当事者や利用者から多数の手直し工事の要望がでている。

また1階の床材が“ミミズ腫れ”のように膨れあがる現象まで現れた。

床の下地を養生して、床材の全面張替えすべきと質問したが、市は「範囲が限定的。部分的な手直しで今後も対応する」と譲らず。

また設計図面を障がい当事者や利用者と共に考えるべきだったのでは、と真の「当事者参加」を訴えたが、「当事者やボランティア団体から十分意見を伺った」とかわされた。客観的な証拠を揃えて再質問・再々質問をしたが、答弁の主旨を変えられずに終わる。

STOP!ヘイトスピーチ 市が『公共施設を使わせない』と宣言。

ヘイトスピーチに対する市の見解と対応を質問した。

市は「特定の民族や国籍の人々を誹謗中傷する差別行為は許さないという対応は、いかなる差別も許さない姿勢を表明している本市がとるべき当然の態度」と表明。

その上で、公共施設の使用許可した後でも、「チラシや展示物・集会内容などから、利用実態が人権侵害にあたりと認められる場合は、使用取消しや使用停止の措置を図ることを全職員に周知徹底する」と、『公共施設は使わせない』宣言をした。

ヘイトスピーチ団体等に公共施設を貸し出すことは「差別を煽ることに自治体が協力する」とことと同じため、指定管理者職員も含め、対応の徹底を要望した。



6月議会 エトセトラ

今回は私を含め21名の議員が質問しました。質問を聞くのは大変面白い。知らないことが沢山あり、驚いたり、考えたり、苦笑いしたりの連続。

他議員の質問の中で、皆さんにお知らせしたい内容を報告します。

伊丹・南・笹原小学校の児童クラブが大変だ！

現在、17小学校 29室で運営されている児童クラブ。南児童クラブは今年度より1室増の3室を運営している。

従来は小3までが対象だったが、今年度から小4、来年度小5、そして2017年度には小6まで受け入れ予定。利用者が大きく増加すると見込まれるのが、伊丹・南・笹原の児童クラブ。部屋と指導員の確保が重要課題に。



新人のため、席は最前列。
甲子園だとバックネット裏。
市長の表情も良く見えます。



保育必要性の認定条件に、保護者の「求職活動」が追加される。

保育の必要性の認定条件が「保育に欠ける」から「保育を必要とする」に変更。新たに、保護者の「求職活動」や「就学」が追加され、保護者の就労時間が月100時間から64時間に緩和された。多くの人が苦勞している「求職活動」が追加され、現実に制度がやっと追いついた!?

自衛隊へ適齢者名簿を本人同意無しに市が提供・・・って、そんなのアリ？

自衛隊員募集案内を送るため、防衛大臣の依頼により、市は2011年度から所有する適齢者名簿を提供している。2014年度は5,012名の氏名・住所・性別・生年月日を本人の同意無しに提供。自衛隊法施行令の「努力義務」だが、市個人情報保護条例の第14条1項「法令等に基づく場合」に該当するため提供を妨げるものではない、と解釈しているという。

また、最新情報を的確に渡すため電子データで提供している、とのこと。かなり違和感あり・・・、というより、そんなのアリ？

『国民的合意のないままに安全保障体制の見直しを行わないことを求める意見書』が否決。

国会で審議が行われている「安保法制」。議論が進むにつれ、無理な憲法解釈や判断基準の曖昧さが浮き彫りになるとともに、ほとんどの憲法学者が「違憲」という代物。無理やり安倍政権が成立させたら、自衛隊員が戦場へ行かされ、血を流す事態になる。

議員の仕事は「市民の命と暮らしをまもること」。伊丹市であれば自衛隊で働く市民をまもるため、国に対し議会が毅然とした態度をとるのは当然、と考えていた私にとって、意見書が淡々と否決されたことはショックだった。伊丹市議はもちろん、伊丹市民が問われている、と思う。



中学校給食の開始時期が遅れる“2つの理由”

当初、2016年9月から実施するとしていた中学校給食。2014年末に建設予定地(北本町3)から土壌汚染対策法の基準を超える「フッ素及び鉛」が検出されたため、土壌改良工事が必要となり、開始が大幅に遅れることに。

加えて、国の交付金(学校施設環境改善交付金・補助率1/3)が不採択(認められない)になったことが5月に判明。今後も要望を続け、来年度も交付金申請をするが、不採択の場合、もっと遅れる可能性も。

市は2017年度の早い時期の開始を目指しているが詳細未定。また、交付金不採択により、有岡小学校の校舎棟空調設備改良工事及び、松崎中学校の石綿対策工事も延期となった。

土壌汚染深度調査結果

- ◆鉛は最高 5,500mg/kg
基準値の 36.7 倍
- ◆フッ素は最高 4.2mg/L
基準値の 5.3 倍
- ◆汚染深度は1ヶ所 10m、
他は 1.5~5m
- ◆地下水は基準値以下
汚染は無かった

議会の不思議



会議室や議場の机上には、A4のコピー用紙と鉛筆(又はシャープペン)が、こんな感じで置かれているのは、なぜ？

市政に対するご意見や疑問、お聞かせください。
困ったこと、悩んでいること、一緒に考えましょう。

伊丹市議会議員 **おおつる 求**

[電話] 090-8122-7114

[Mail] mmcs0226@yahoo.co.jp

[Web] <http://ootsuru.com> ブログ更新中



【プロフィール】 伊丹市稲野町在住 44歳

1971年福岡県大牟田市生まれ ■ 近畿大学法学部法律学科卒
■ 国際交流NPOのスタッフとして「地球一周の船旅」に参加 ■
中川智子衆議院議員(現宝塚市長)秘書 ■ 地元建築従事者の
組合・阪神土建労働組合に入局 ■ 2015年4月26日の伊丹市
議会議員選挙に社民党公認で立候補。1,178票を頂き初当選

日々雑感

- ◆『パレードへようこそ』ホントいい映画でした。
- ◆昨年に続き今年もベランダのゴーヤが元気だ。
- ◆国民が権力の暴走を縛るためにあるのが憲法。
- ◆家のテレビはブラウン管。NHK受信料が安い。
- ◆建設石綿大阪訴訟判決日は来年一月二十二日。
- ◆政治を変えると20年。安保・原発、勝負の時。
- ◆息子よ、土井たか子は歌手ではないぞ。それは和田アキ子。親は誰だ！
- ◆芝生に寝転び空を見上げる、ボクの至福の時間。
- ◆理論的に考えない人に言葉や議論は無力なのか。安保法制質疑を見て。
- ◆献血回数50回に。健康第一と再認識する日々。
- ◆しなやかに、粘り強く、あきらめない。遊び心を持ちつつ、今日も進もう。